

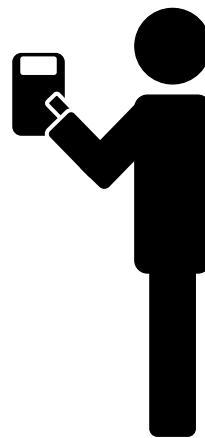
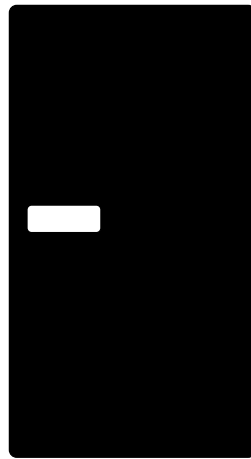
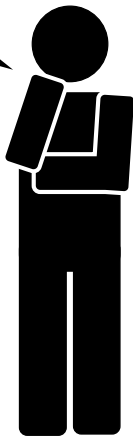
住宅の点検を装った強盗の下見にご注意を

現在、一般住宅に対し「屋根」や「給湯器」、「分電盤」等の点検と称して、自宅への訪問の約束を取り付ける電話が多くなっています。

また、事前連絡なく突然来訪し、点検と称して自宅に上がり込まれたといった相談も多くなっており、これらは住宅強盗の下見の可能性があります。

この他にも、不安を煽って高額でさらに必要のない工事の契約を迫り、契約書にサインをさせる悪質商法に関する相談も増えています。

この前、知り合いの業者に見てもらって、大丈夫って言われたのに。本当なのかな。



こんにちは。近くで工事をしている者です。屋根の壊れているところを見つけました。

すぐに修理をしたほうがいいですよ。今なら無料で点検します。

曖昧な返事をせずに不要であればキツパリ断りましょう。
一人で対応せずに家族や警察に相談しましょう。

- 「調査」や「点検」を目的とした来訪であっても不用意に玄関を開けない



業者などを装って下見に来ているかもしれません。
業者名やアポイントメントの有無について確認しましょう。

- 必ずモニタ付きインターホンで来訪者を確認する



実在する業者を名乗っている場合もあります。来訪者を見て「怖い」と思ったら無理に対応しないようにしましょう。

- 個人にかかわること（世帯構成、資産状況、現金の自宅保管の有無など）については絶対に答えない



断片的な情報でもまとまれば、世帯構成や貯金額などが一目瞭然の名簿が出来てしまいます。個人情報の開示しないようにしましょう。

- 電話で「現金」や「キャッシュカード」などの話が出たら、電話を切る



特殊詐欺の電話であることはもとより、電話で情報収集をしているかもしれません。犯人からの電話を受けないために常時留守電設定を。



不審な訪問、電話は直接対応することなく、インターホンや留守電で対応しましょう